

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	びじょん		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 26日		2026年 1月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		2026年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 3月 2日		2026年 3月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	18施設(保育園:6施設/小学校:12施設)	(回答数) 13施設(保育園:5施設/小学校:8施設)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設とは日頃から密にコミュニケーションを図り、専門的な助言や良好な関係維持に努めています。	訪問先(保育所等)との信頼関係を最優先に考え、密なコミュニケーションと状況把握を徹底しました。	新体制のもとで、訪問先との情報共有カンファレンスをさらに定例化・システム化していきます。
2	子どもや保護者の意向・ニーズを客観的に分析し、それらを反映した計画作成や相談支援を維持しています。	子どもや保護者への支援の質を落とさないよう、客観的なニーズ分析と丁寧な意向聴取を意識して継続しました。	保護者評価や日々の面談から得た意見を、よりダイレクトに今後の支援の質の向上へと繋げます。
3	通所(児発・放デイ)と合同で、虐待・ハラスメント防止研修やヒヤリハット事例の共有を適切に実施しました。	訪問単独での実施が難しい研修や事例共有を、通所(児発・放デイ)の枠組みと合同で企画・実施することで、事業所全体の安全意識の維持に努めました。	保護者評価や日々の面談から得た意見を、よりダイレクトに今後の支援の質の向上へと繋げます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	退職した特定職員らによる不適切行為があり、組織内の健全な協力体制や情報共有が完全に機能していませんでした。	退職した特定職員らによる不適切な言動があり、職員間の健全なコミュニケーションや業務上の協力関係が阻害されていたためです。	原因となった職員の退職を受け、今後は新体制のもとで定期的な多職種カンファレンスを徹底し、共通理解に基づく連携体制と計画共有の仕組みをゼロから再構築します。
2	不適切行為に伴う職場混乱による、評価シート等の実施時期の遅れ	不適切行為を行う職員らが在籍していた時期、現場の混乱や業務の停滞が生じたため、本来のスケジュール通りに評価シート等の手続きを進めることが困難だったためです。	原因となった職員の退職により環境が正常化したため、今後は新体制のもとでスケジュール管理を徹底し、評価シート等の定期的な実施・回収を速やかに軌道に乗せます。
3			